

# 地域に、 今私ができること

**DATE**  
2026.03.31

**VENUE**  
多古町コミュニティプラザ

**SPEAKER**  
地域おこし協力隊  
多古町企画政策課広報係所属  
佐藤直基



# 自己紹介

・佐藤直基 40

- ・ ス페인料理銀座エスペロで料理4年間修行
- ・ 写真を学びたいと写真専門学校へ
- ・ フォトスタジオ経験後ニューヨークに写真留学
- ・ 帰国後フォトプロダクション所属し
- ・ フォトグラファーとして主に雑誌6誌担当
- ・ 株式会社バンダーにてディレクションやEC運営、
- ・ キャスティング雑誌トランジットなどの撮影を行っていた。
- ・ 雑誌制作会社にて取材撮影や企画立案や打ち出し
- ・ PRなどを行ってきました
- ・ 現在
- ・ 多古町地域おこし協力隊として活動

・ 多古町地域おこし協力隊入隊理由

・ 父が地域で支社長として活躍していた時が一番輝やっていたことを思い出し自分も地域に貢献しもっと輝きたいと考え自分の考える地域おこしを実践している



活動概要① 『多古町公式』 インスタ運営

活動概要② 『ふっくらたまご』 PR

活動概要③ 次年度に向け移動型PR活動『多古町食堂』の開発

次年度の活動内容① 『多古町食堂』始動


次年度の活動内容② 旧興新小保全計画

次年度の活動内容③ 『多古町公式』 インスタ運営

私のテーマ

地域のために、  
今私ができること

地域に根ざし、課題に向き  
合い、未来をつくるための  
一歩を多古町への想いを込  
めて



## 活動概要 インスタ運営目的

本事業は、多古町の認知度向上、交流人口の拡大、関係人口の創出および町内経済の活性化を目的として、公式SNSを活用した情報発信を行うものである。

# 今年度のインスタ運営の目標

- ① インスタ運営の基礎の構築
- ② 多古町のブランド価値向上
- ③ IP（知的財産）の保護
- ④ 迅速な情報共有



**年間投稿実績**

**年間投稿総数 : 365件**

**月平均投稿数 : 毎日投稿達成**

**リール投稿数 : 2件**

「閲覧数（インプレッション数）」とは、投稿やリール、ストーリーズがユーザーに表示・再生された回数の合計

105.2万



— 閲覧数

# リーチ数とは投稿やストーリーズを閲覧したユニークユーザー数（実人数）

16.1

↑ 997.6%

万

8万

4万

2万

0

4月1日

5月21日

7月10日

8月29日

10月18日

12月7日

1月26日

— リーチ



「コンテンツインタラクション」とは、ユーザーが投稿に対して行った「いいね!」「コメント」などの具体的なアクションの総数

2.2万

↑ 100%



— コンテンツでのインタラクション

# 投稿やストーリーを見たユーザーが、あなたのアカウントのプロフィール画面を訪れた回数

2.1万 ↑ 63.1%



Instagramプロフィールへのアクセス

1,279 ↑ 1,539.7%



Instagramでのフォロワー



## 5. 成果分析

### (1) インスタ運営の基礎の構築

インスタ投稿システムや文章設計、基盤は作れたと認識してい

### (2) 多古町のブランド価値向上

地名表記や情緒的な文章設計、里山・原風景という差別化軸は  
達

成でき閲覧数は月平均8.75万とリーチ数前年比10倍フォロー数

### (3) IP（知的財産）の保護

多くの自治体アカウントはIP戦略が弱い傾向があるが、  
多古町には素晴らしい街並みや風景の魅力、歴史的な神社仏閣あ  
る ことを町外に再認識していただけたと思っております。

課題

動画コンテンツ制作体制の強化

地域を巻き込んだ投稿

広告活用による戦略的拡散

若年層フォロワー比率の向上

## •総括

- 本年度のSNS運営により、多古町の認知拡大および情報到達数は着実に向上した。地域ブランディングの基盤形成に寄与した。
- 今後は戦略的な動画活用および分析精度向上を図り、交流人口増加および地域経済波及効果の最大化を目指す。

## 活動概要②

『ふっくらたまご』

PR

◆ふっくらたまご記念撮影イベント企画概要

企画名：イトーヨーカドー松戸店撮影会イベント  
(ふっくらたまごことゲストとの記念撮影会)

(1)目的

ゆるキャラのふっくらたまごの記念撮影の機会を作り多古町の地域特性を活かしつつ地域との緩やかな関わり方を提示する。特産品やふっくらたまごをPRし、地域の魅力を知ってもらい今後の交流イベントの始まりとして、注目度を高めSNSをフォロー登録を促すことを目的とする。

(2)開催場所案

以下の拠点に決定する。

名称：イトーヨーカドー松戸店

住所：〒271-0092千葉県松戸市松戸1149

最寄駅：松戸駅直結

1日の平均客数：約一万人



(3)開催日程案

①2025年6月15日前後（千葉県民の日） 松戸さん、ふっくらたまごの予定  
※開始時間または終了時間の調整は可能

(4)タイムスケジュール案

未定（イトーヨーカドー松戸店の方に確認）

(5)参加費・定員・対象者

参加費：無料

対象者：家族や子供が対象

定員：未定

プレゼント:ステッカーや名刺、ファイル等

(6)広報活動

- ・使用媒体：イトーヨーカドー発信 shufooのWebページ、SNS広告（Facebook、Instagram）  
本企画者 SNS広告（Facebook、Instagram）
- ・チラシは作成せず、すべてWEBで広報活動を実施する。

(7)広報スケジュール案

- ・SNS広告バナー作成 未定
- ・確認/修正 未定
- ・広告配信スタート 未定



(8)ゲスト候補

2025年5月のイベント想定しているゲスト候補（2名ともに予定確保済み）



(6月イベント) まつど応援キャラクター 松戸さん

松戸市制施行70周年を記念して、2013年12月に「まつど応援マスコットキャラクター」を一般公募。応募総数619作品の中から市民投票及び本郷谷市長を委員長とする選考委員会でグランプリに輝いたのが、顔全体で松戸をアピールしている「松戸さん」です



マルコメの企業キャラクター マルコメくん

テレビCMでは1977年から実際の男の子が登場している。マルコメ味噌は創業は1854年（安政元年）という歴史ある企業のキャラクター

# 実施報告 写真





## 活動概要③

次年度に向け移動型PR活動『多古町食堂』の開発



### 活動概要③

移動型アンテナショップ

# 多古町食堂 事業計画

“ どこでも出会える"多古のごちそう"。

🌱 多古米と特産品の体験提供で地域ファン

📅 を創出 2025年9月4日

# 事業基本情報

## 1. 多古町が抱える課題

千葉県香取郡多古町は「多古米」で全国的に評価される農業の町ですが、**少子高齢化と人口減少、いわゆる過疎化**が深刻化しています。

特に若年層の流出と外部からの移住者不足により、

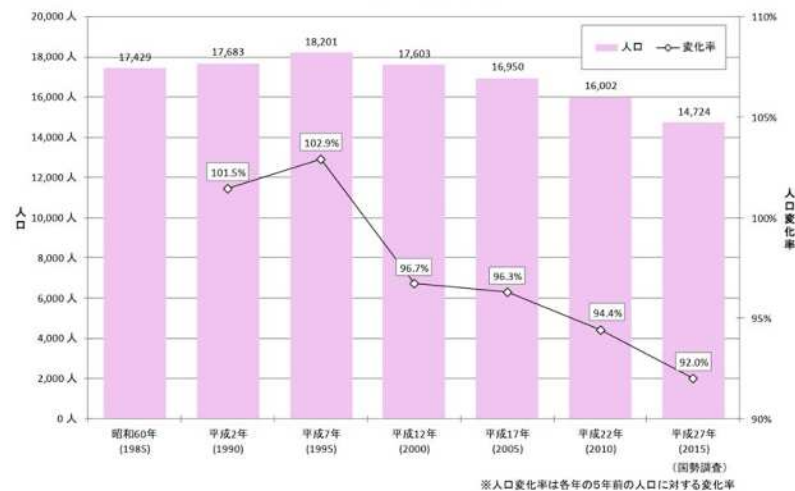
「**地域経済の縮小**」と「**担い手不足**」が顕著になっています。

町外からの認知度が低く、都市部の人々にとって“**多古町の名前すら知られていない**”という現状があります。

多古町の人口についてみると、平成7年をピークにし、以降減少しており、平成27年で14,724人となっています。

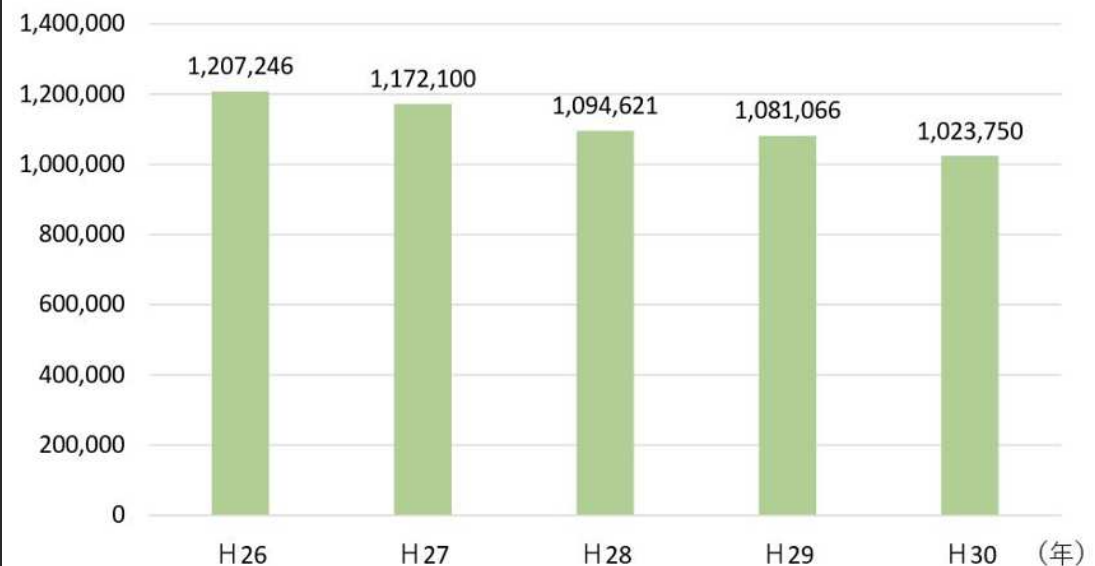
また、人口変化率についても減少が続いており、人口減少傾向が強くなっています。

人口と人口変化率の推移



(人)

観光入込客数



# 事業基本情報

## 2. 移動型アンテナショップの役割

そこで登場するのが「移動型アンテナショップ 多古町食堂」です。ポイントは「現地に来てもらう前に、多古町の魅力を“出前”する」こと。多古米や大和芋、元気豚を使った 丼ものや山芋ポテトを幕張メッセなど都市イベントで提供することで、人々が五感で多古町を体験できます。

📍 つまり「町に行かなくても、町を知ることができる」仕組みです



# 事業基本情報

## 3. 認知の重要性と移住・定住へのステップ

移住・定住を考える人にとって、最初の壁は「その町を知っているかどうか」です。  
認知 → 興味 → 訪問 → 関係人口 → 移住定住 というステップがあり、  
最初の“認知”を作り出す役割をアンテナショップが担います。  
食や文化を入口に「多古町っていいな」と思わせ、  
観光訪問や二拠点居住を経て、将来的な移住に繋げていくことが可能です。



# 事業基本情報

## 4. 期待される効果

### 【都市部での発信力向上】

多古町を知らない層へリーチし、話題化を図る。

### 【関係人口の創出】

イベント来場者を「観光客」として町に繋げる。

### 【移住定住の基盤作り】

まず“知ってもらうこと”から始める、最も効果的な入口戦略。

# 事業基本情報

## 5. まとめ

過疎化に悩む町がいきなり移住定住を増やすのは困難です。

しかし「移動型アンテナショップ」という低リスク・高発信力の方法で  
都市部に種をまき、町への認知を広げることができます。  
その積み重ねが、観光・交流・移住の流れを生み、

最終的に多古町の持続可能な未来を形作ると考えてます。

# 事業基本情報

【三方良し】

多古町

- ・シティプロモーション
- ・地域PRの費用対効果向上
- ・多古町の認知向上
- ・インスタフォロワーの増加

生産者

- ・販売チャンネルとブランド露出、価格プレミアム化の可能性
- ・新商品開発もできる
- ・マーケティングもできる
- ・売上できる
- ・地域貢献できる

PR車

お客様

- ・多古町の食材が食べれる！
- ・試食→納得購入、郷土体験
- ・購入することでの経済的な地域おこしができる

# 移動アンテナショップ情報

多古町食堂は、多古町の特産品である「多古米」を中心とした地域食材を活用した移動型アンテナショップです。体験提供型の食事サービスを通じて、多古町の魅力を広く伝え、地域ファン獲得と観光誘致を実現します。

「どこでも出会える"多古のごちそう"。」



## ♥ 提供価値

多古米などの特産品の"体験提供"を通じて、地域のファンを創出し、企業や観光客誘致に貢献します。多古町の魅力を「食」という普遍的な体験を通して伝え、持続可能な地域経済の循環を生み出します。

## 🍴 主な提供物

- ✔️ 豚とろろ 丼（提供）- 3種類の多古町の特産品使用した目玉商品
- ✔️ 豚丼（提供）- リーズナブルながら満足度の高い定番
- ✔️ 元気豚加工品（提供）- リーズナブルながら満足度の高い定番
- ✔️ 多古水（飲料）- 原価70円 / 販売110円の定番ドリンク
- ✔️ 多古町の6次化製品- 野菜、漬物、地酒など多彩な商品展開予定

## 📍 主な販売先候補

- 🏠 幕張メッセのイベント- 大規模な集客が見込める展示会・見
- 🏢 本企業イベント- 公共性の高い場所での出店
- 🏪 都市型マルシェ- 定期開催される食のイベントへ
- 🌾 の参季節イベント- 収穫祭や地域フェスティバルなど

# ヴィジュアルイメージ

多古町食堂は、昭和の食堂をコンセプトに気軽に地域食材を食べれる。移動型アンテナショップです。食事サービスを通じて、多古町の魅力を広く

伝え、地域ファン獲得と観光誘致を実現します。

「どこでも出会える"多古のごちそう"。」



そして

# 『多古町食堂』 始動の、 準備してしてしています



そして

# 旧興新小学校 保存プロジェクト

多古町の記憶を守り、未来へ残す

**『記憶を守り、未来へ渡す。』  
旧興新小学校を、地域の思い出と風景をつなぐ  
“生きた文化資源”として残す。**

そのために、できるところから収益を生み、  
少しずつ修繕しながら、未来の世代に引き継ぐ。

旧興新小を「持続可能な収益を生む地域資源」として保全し倒壊を回避しながら段階的に保存を実現する。

## 🏠 動機

- ✔️ SNSに投稿すると、多数の人から“思い出の声”が集まる場所。卒業生や地域の人々が、写真を見るだけで当時の記憶を語り始める。「心が動く場所」だからこそ、失なってほしくない。
- ✔️ 今は文化財収蔵庫として使われ朽ち果てつつある。収蔵庫としての町の管理費用だけでは『活用』を見据えた修繕には限界がある。保全し、活用していくには、資金を調達し大規模な改修をしなければならない。
- ✔️ 学校の統廃合によって古い校舎が貴重になる中、旧興新小は“まだ残せる”状態。ぎりぎり残っている今が最後のチャンス。  
\*\*「残す価値があり、残せる可能性がある稀少なタイミング」\*\*にある。

何より「一目見て残したいと思った」こと

その印象の強さこそが、多くの人の記憶と共鳴している場所です。



## 有志者

### 佐藤 直基(さとう なおき)

- ✔ 地域のブランド価値を最大化に尽力し  
地域活性化を目指す

情報発信を基盤にし、他地域の方々に多古町の知られざる魅力や多古町のこと皆さんに知っていただきたいと考えている。



### 長峯勉(ながみね・つとむ)

- 👥 様々な空家を修繕してきた空家改修の  
スペシャリスト

多古町に特化し、急務の空き家対策に尽力、必要な改修費用・維持管理など多様な問題を含めて、宅建士・ファイナンシャルプランナーといった専門的な知識と経験を生かして取り組む



### 松崎 宏泰(まつざき ひろやす)

- 🏠 地域産業プロデューサー | ローカルビジネス創出クリエイター\*\*

\*\*地域の資源から“新しい産業”を生み出す実践型プロデューサー。キャンプ場の開拓・黒字化、コンテナ事業の年商6,000万円規模への成長、観光農園×宿泊モデル、FC型事業の構築中、SNS発信、シェアカー・シェアハウス事業など多彩なプロジェクトを同時



# 旧興新小学校の歴史と価値

## 🕒 歴史的背景

- 🏠 明治17年（1884年）に創立し、多古町の教育の拠点として長きにわたり地域に貢献
- 🏛️ 創立百周年の碑（昭和58年製）によって歴史が刻まれており、地域社会の発展とともに歩んできた証
- 🏢 平成5年（1993年）に周辺地域の学校統合に伴い閉校

1884年

創立

1931年

石造り門柱建設

1993年

閉校

## 🏠 文化的価値と建築的特徴

- 🏠 明治に建てられた木造二階建て学校建築物、他と比べると現在も良好な状態で保存
- 🌲 建物の歴史を物語る象徴
- 📷 映画『永遠の0』やテレビドラマ『梅ちゃん先生』などのロケ地として使用、全国的な知名度を高める
- 🧠 校舎内部にはピンク色の壁や木製の窓、扉などがあり、当時の面影を色濃く残す

「多古町の記憶と文化を次世代へと継承し、地域の未来を豊かにするための重要な取り組みです」

# 現在直面している課題

## 🏠 老朽化問題

- ⚠️ 耐用年数22年に対し、経過年数60年、老朽化比率273%
- ✅ 老朽化対策判定基準の「タイプa」に該当
- ℹ️ 「廃止の検討もしくは改築更新を5年以内に実施」すべきだが、現状の収蔵庫としての運用では、安全面に問題がないため適宜補修して現状維持に努めながら使用している状態

### 建物の老朽化状況

耐用年数: 22年

経過年数: 60年

## 🏛️ 財政的制約

- 📉 人口減少による税収減
- 👥 扶助費（社会保障関連経費）の増加  
高度経済成長期に建てられた公共施設やインフラ整備の更新に伴う投資的経費、集中的な増加
- 👛 公共施設の改修や更新に必要な投資的経費の確保が困難

### 財政状況

↓  
税収減少

⚖️  
支出増加

👉  
投資不足

## 📅 保存方針

- ✅ 「歴史的木造建築物として保存」  
「現状維持が大事な目的」と明確に位置づけられている
- 🎬 テレビや映画等のロケ地としての利用促進を図る方針も示されている
- ⚠️ あくまで「現状維持」を基本とした方針であり、老朽化の進行に対する具体的な大規模改修や長期的な活用計画はされていない

### 今後の課題

老朽化の進行と財政的制約の間で、建物の保存と適切な活用方法を見つける必要があります。

## 予算

### 🏠 修繕費（予想）

外壁・屋根補修・塗装	1,500万円
耐震補強（柱・梁・基礎）	2,500万円
床補強・階段修繕	500万円
内裝修繕（壁・天井・扉）	400万円
電気・配管・水道・給排水 整備	800万円
浄化槽・トイレ設置	500万円
雨漏り・防水対策	300万円
総合予備費（10～15%）	600万円

**合計概算： 約 7,600～8,000万円**



# 多目的活用構想



歴史的建造物の魅力を活かした多目的な活用



## ロケ地機能強化

- ✓ 映画やドラマの撮影誘致
- ✓ 多古町フィルムコミッションとの連携強化
- ✓ 撮影環境の整備やサポート体制を充実



## 地域コミュニティスペース

- ✓ イベント会場として開放
- ✓ 地域の公園としての活用
- ✓ 多世代交流を促進する活動の推進



## 歴史資料展示室

- ✓ 学校の歴史や多古町の民俗文化財を展示
- ✓ 創立百周年の碑や当時の備品などを展示
- ✓ 地域の歴史教育の拠点とする



## ワーケーション施設

- ✓ 自然豊かな環境を活かし、都市部からの利用者を誘致
- ✓ 高速インターネット環境を整備
- ✓ コワーキングスペースや宿泊施設の機能を検討

# 段階的改修計画

旧興新小学校の保存と活用に向け、5年間の計画的な改修プロセス



## フェーズ1

### 緊急補修と安全性確保

- ✓ 屋根、外壁の劣化部分の緊急補修
- ✓ 基礎部分の点検と必要に応じた補強
- ✓ トイレ設備、給排水設備の安全性点検
- ✓ 調査と除去

目標: 構造的安定性の確保

第1年



## フェーズ2

### 耐震補強と内外装の修復

- ✓ 専門家による耐震診断と補強工事
- ✓ 木造校舎の構造材の修復・交換
- ✓ 内外装の歴史的意匠に合わせた修復
- ✓ 教室の原状回復と当時の雰囲気再現

目標: 歴史的意匠の復元

第2～3年



## フェーズ3

### 設備の近代化と多目的利用

- ✓ 空調設備、照明設備の省エネ型更新
- ✓ インターネット環境の整備
- ✓ 多目的スペースとしての音響・映像設備

目標: 多様な活動への対応

第4～5年

「安全性の確保を最優先としつつ、歴史的価値を尊重した修復と近代化を両立させる」

# 資金調達戦略

多角的な資金調達アプローチにより、旧興新小学校の保存プロジェクトを実現します



## 国・県・市町村補助金

- ✓ 文化財保護以外の特別措置法に基づく補助金の活用
- ✓ 歴史的建造物の保存に関する国の示す技術基準に沿った申請
- ✓ 多古町の公共施設維持管理計画に含まれる老朽化対策資金



## クラウドファンディング

- ✓ 地域住民への寄付キャンペーンの実施
- ✓ 映画・ドラマのロケ地としての知名度を活用した特別寄付
- ✓ プロジェクト進行状況の透明な共有による信頼構築



## 企業連携

- ✓ 多古町フィルムコミッションとの連携による撮影利用料の寄付
- ✓ 地域企業へのスポンサーシップ案の提案
- ✓ 広告効果と社会的意義の両面から企業の支援を寻求

## その他の資金調達方法

💡 県立図書館の寄付財団への寄付

🎪 地域イベントの開催による収益

🎓 教育研修プログラムの実施による収益

## 期待される効果と地域貢献



多古町の地域活動とコミュニティの絆の扉



### 地域経済の活性化

 歴史的建造物を活用し、国内外からの観光客誘致



### 雇用創出

 施設運営、イベント開催など、新たな雇用機会の創出



### 地域コミュニティの結束強化

 地域コミュニティスペースでは世代を超えて交流



### 郷土愛の醸成

 展示や教育プログラムで地域の歴史文化を教育

# 未来への継承

## A 長期的ビジョン

### アイデンティティの維持

多古町のアイデンティティを未来にわたって維持し、地域文化の豊かさを守る。

### 地域コミュニティの活性化

保存された歴史的建造物を拠点とし、地域住民の交流と協働の場を増やす。

### 持続可能な地域振興

観光やイベントなど多様な活用により、地域経済の持続可能性を高める。

## 私たちの責任

- ✔ 多古町の人々で地域の記憶と文化を次世代へと継承
- ✔ 保存プロジェクトへの理解と協力を促進
- ✔ 歴史的建造物を活用する多様なアイデアを提案

「旧興新小学校保存プロジェクトは、単なる建物の維持に留まらず、多古町の貴重な歴史的建造物を次世代に確実に継承するための重要な一歩です。」

“ 町民、関係機関、そしてこのプロジェクトに関心を持つすべての方々の理解と協力を強く呼びかけます

 2025年11月29日



ブランド価値を向上するために  
インスタ頑張ります！